

Voice

ANNA INOTSUME

SUPER TAIKYU

2026 Rd.2 SUZUKA

ENEOS スーパー耐久シリーズ2026
Empowered by BRIDGESTONE
第2戦 鈴鹿5時間レース



BIRTH RACING PROJECT #250
ST-USA CLASS P1 | OVERALL P41

マスタングデビュー戦、完走できました！まずは、今年のレース活動を応援いただいているスポンサーの皆さまと、私を受け入れてくださったチームに感謝します。

2年前、KYOJO CUPから選抜され北米GR CUPに1レース挑戦させていただきました。その時、すべてにおいて豪快でスケールの大きいアメリカンモータースポーツの文化を肌で感じ、カルチャーショックを受けながらもまた挑戦したいと願っていた中、今年の挑戦はとても楽しみにしていました。

アメリカでは長さ・長さ・距離・面積・温度など、日本ではあまり使わない単位を使用しますが、マスタングも例外ではなく、摂氏が華氏、リッターがガロン、時速はキロ (km/h) ではなくマイル (mph) 表記と、オーナーもメカニックもドライバーもみんなが初めて見るものがありました。

耐久レース完走の実績が無い車両で、車重は約1.7トン、左ハンドルでシフトはHパターン、5.0リッターV8エンジンと、走る前は正直不安が大きかったです。さらにレースウィークがシェイクダウンだったため、クルマだけでなく周囲にも配慮が必要でしたが、チームの皆さんと協力しながら、順調にテストメニューを消化できました。初乗りの感想は想像以上に乗りやすく、素直なクルマでした。重さを感じる部分は正直ありますが、特徴は捉えやすく、シフトも扱いやすかったです。決勝レースはスタートドライバーに指名いただき、「必ず次のドライバーにバトンを繋ごう」と責任感を持って、丁寧に運転することを心掛けました。

みんなと約束した「24時間レースに向けて今回は必ず完走」という目標に向かってチームが団結した結果、大きなトラブルもなく無事に5時間を完走することができました。

250号車の存在が、日米モータースポーツ交流の架け橋やきっかけになれるように、丈夫なクルマづくりを目標に、次戦の富士24時間レースも頑張ります。

たくさんの方々に注目していただけて、とても嬉しかったです。応援いただきありがとうございました。

猪爪杏奈

